

# 営農ファイル

## 農産園芸部門

### 農作業メモ

#### 早期水稲

1. 畦畔の草刈りを徹底しましょう。
2. 生育・水管理  
※幼穂の伸長期は間断かん水とし、穂ばらみ期から出穂開花期は湛水状態を保ちましょう。
3. いもち病・カメムシの防除  
※いもち病を確認したら速やかに防除しましょう。  
※カメムシの発生が多いと予想されます。水田内や畦畔の雑草は出穂前に刈取り、穂揃い期とその10日前後の2回防除を徹底しましょう。  
※カメムシの被害は品質低下の原因になります。

#### 問い合わせ先

J A 尾鈴営農指導課

☎ 27-4504

児湯改良普及センター

☎ 43-2311

#### ニラ

定植が終わった生産者は根を張ることを意識し、発根剤等利用しながら栽培を行ってください。

また、病害虫も活発に動いていきます。こまめな防除を行うようよろしくお願いいたします。

#### ミニトマト

栽培の終わりが、次の作の始まりになります。栽培の可否を左右するのは、作物の最も住みやすい環境を作ってやるのが大事になります。連作障害対策として土壌消毒の徹底、土壌診断に基づく施肥改善を必ず実施してください。

定植は適期定植が基本です。定植の1週間前には圃場準備が完了できるように計画的な作業を行ってください。

#### 大玉トマト

土壌病害虫対策として太陽熱消毒を必ず実施する。青枯病やセンチュウが気になる圃場にはクロピクフロアやネマトリン粒剤などの薬剤消毒も有効。太陽熱消毒は改良太陽熱消毒を基本に行う。元肥については土壌診断に基づき無駄のない的確な施肥を行う。コナジラミ対策として防

虫ネットの破損がないかの確認、ハウス周りの除草も徹底する。

#### ブドウ

収穫期に入ってからからの降雨は裂果、病害虫の発生を助長するので、圃場の排水対策に十分注意してください。梅雨明け後については、高温障害を避ける為にビニールを除去してください。

#### 【防除】

巨峰群系

べと病、褐斑病、晩腐病、灰色かび病  
ストロビードF 2000〜3000倍  
14日前  
混用  
コガネムシ、チャノキイロアザミウマ  
アディオン水和剤 2000〜3000倍  
7日前

サニールージュ・ハニービーナス

褐斑病、うどんこ病、晩腐病  
オンリーワンFL 2000倍  
前日  
混用  
ハマキムシ類、クビアカスカシバ  
サムコルFL10 5000倍  
前日

#### キンカン

○6月下旬に1番花の満開を揃える為、6月上旬から蒸し込み処理を行

って下さい。昼温30〜35度、夜温23〜25度で5〜7日間になります。

○蒸し込みをして、出蕾を確認したら、昼温を30度以下に下げます(夜温は20〜23度)。

○出蕾して粟子〜4mmの大きさで尿素の散布。開花期前の8mmの時に再度尿素の散布。この時期に花粉の質と量が決まる為、しっかりと行って下さい。

○開花期間中は、30度以上の高温になると受粉率が下がり、結実が悪くなる為、温度が25〜27度程度になるよう高温対策を行って下さい。

#### 【耕種的防除】

灰色かび病：パイプ等での花弁落とし。

#### 【農業防除】

灰色かび病、黒点病  
ストロビードF 3000倍 14日  
アザミウマ類  
混用  
スピノエースFL 5000倍 7日

注意 きんかんの開花と受粉は朝3時〜5時に行われ、完全な受粉まで6時間かかります。その為、開花期の防除は、午後以降に行ってください。